

平成22年第1回定例会のあらまし

平成22年第1回定例会は、2月5日から2月23日まで開催され、報告3件、諮問4件、議案46件が提案されました。一般質問は2月9日から12日まで行い、条例の一部改正10件、追加議案を含む議案8件、平成21年度一般会計補正予算等12件、平成22年度一般会計予算等14件を原案可決しました。

また、常任委員会に付託した請願1件は一部採択とし、継続審査としていた請願及び陳情は、採択及び不採択としました。

なお、議員発議の提案が2件あり、うち1件を議決し、意見書として関係機関に送付しました。

条例の一部改正

*奥州市立幼稚園条例

昨今の少子化の進行による幼児数の減少、幼稚園での保育需要等を総合的に勘案し1幼稚園（市立水沢西幼稚園）を閉園することとしたため、改正をするものです。

*奥州市立幼稚園保育料等条例

入園料の取扱いについて、その徴収の趣旨等を勘案し運用を一部見直すこととしたため、改正をするものです。これにより、入園料は入園時に徴収しますが、中途退園者が当該年度内に再入園した場合、徴収しないこととなります。

*奥州市農村公園条例

県等から譲与された農村公園（計49園）について供用を開始すること等に伴い、改正するものです。

*奥州市総合水沢病院事業の設置等に関する条例

胆江医療圏に感染症に対応する医療機関がない現状から、現在において対応が可能である二類感染症の一部についての病床を配置するため、改正をするものです。これにより、あらたに感染症病床が4床配置されました。

【感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律】

第6条第3項

「二類感染症」

1 急性灰白髄炎（ポリオ）

2 結核

3 ジフテリア

4 重症急性呼吸器症候群（SARS）

5 鳥インフルエンザ（H5N1）

第6条第15項

「二類感染症指定医療機関」

二類感染症及び新型インフルエンザ等感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院。

指定管理者の指定

奥州市条例により、市長が公の施設の管理を指定するものに行わせることについて、今回提案の5件について可決したものです。

（ ）内は指定管理者

- 1 奥州市前沢老人福祉センター
（社会福祉法人 奥州市社会福祉協議会）
- 2 奥州市胆沢牧野
（岩手ふるさと農業協同組合）
- 3 えさし観光交流館
（江刺開発振興株式会社）
- 4 水沢乙女川先人館
（株式会社 まちづくり奥州）
- 5 衣川歴史ふれあい館
（特定非営利法人 天遊塾）

指定管理者制度は、それまで地方公共団体や地方公共団体の出資法人、公共的団体等にしか認められていなかった公の施設の管理を、民間法人等にも委ねることを可能にした制度です。この制度は、指定管理者に使用許可等を行わせることができるなど、業務範囲の拡大による管理の効率化やサービスの向上、経費の節減のほか、市民との協働や地域の活性化等にも効果が期待できる制度です。

奥州市では、合併前に各市町村議会での議決を受けて指定していた施設を引き継いで78施設の指定でスタートしました。平成19年に奥州市として統一した基準となる奥州市指定管理者制度導入指針を策定し、制度未導入の直営施設についても導入の可能性の検討を進め、平成20年4月1日から82施設を指定しています。平成21年度には新たに10施設を指定し、今回議決した5施設（新規3施設、継続2施設）を加え、平成22年4月1日からは95施設となりました。